

・里海学舎構想に関する作業の進捗状況等について

志摩渚の交番運営委員会

取り組み状況と成果等

- (1) 日本財団の「渚の交番プロジェクト」への申請。
- 10月23日：第2回「志摩渚の交番」運営委員会を開催
- ・事業申請に伴う事業計画書の内容についての意見交換を行い、申請内容について承認。
- 10月30日：事業申請 一社)伊勢志摩里海学舎 日本財団
- 平成28年度のソフト事業：志摩「渚の交番」推進事業
- ・「志摩渚の交番プロジェクト」を推進するために必要となる各種コンテンツの確立を目指した取り組みに対する支援(申請額の8割 - 上限無し)。
 - ・3年間(H28~H30)、日本財団の支援を申請。
 - ・平成28年度は、必要となる備品の購入とともに、コーディネーター等の運営体制の確立、里海ツアーガイドの育成等を行い、4年後に助成金に依存しない自立した体制の確立を目指していく。
- 平成28年度のハード事業：志摩「渚の交番」建設事業
- ・「渚の交番」の建設に伴う各種測量試験費及び設計費並びに建築費に対する支援(申請費の10割 - 概ね1億円を上限)。
 - ・「志摩渚の交番」は、間崎島に整備することになっていることから、離島割増等に伴い事業費が増額となることについて、協議済。
- 11月10日~12月17日：日本財団の審査会で事業内容を説明するための各種資料の作成
- 日本財団の事業採択に係る審査会で、日本財団の担当者が申請内容について説明するため、里海推進室と連携を図って次の要求資料を作成し、日本財団の担当者の理解を得るため、十数回のやり取りを繰り返し行った。
- ・志摩市における課題の整理、・間崎島の現状と課題、渚の交番の役割
 - ・なぜ、間崎島に必要なのか、・実施予定事業の5W1H
 - ・里海学舎のネットワークの構成と活用方法の整理、・その他

今後の取り組み

- (1) 地域資源を活用した理科教材の開発(志摩市農林水産部里海推進室)
- ・里海学舎構築業務の一環として、アコヤ貝の解剖キットの開発に伴う教材の検証としてモデル授業を実施中。
 - ・三重大学・立命館との連携協定に基づき、立命館高校及び三重大附属小学校で授業を実施中。

(2) 日本財団の「渚の交番プロジェクト」にかかる今後のスケジュール(予測)

H28年1月末：審査会に用いるプレゼン資料等の作成

- ・日本財団担当者が、申請書や付属資料をもとに作成する。

H28年2月下旬～3月上旬：審査会

- ・審査会が開催され、採択されれば組織内決定となり内示が通知される。

内示通知後：事業採択に係る手続きを経て、事業着手が可能

- ・ハード事業

地質調査 設計業務 建築工事(9月頃発注見込) 竣工(3月末見込)

- ・ソフト事業

4月より実施